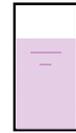
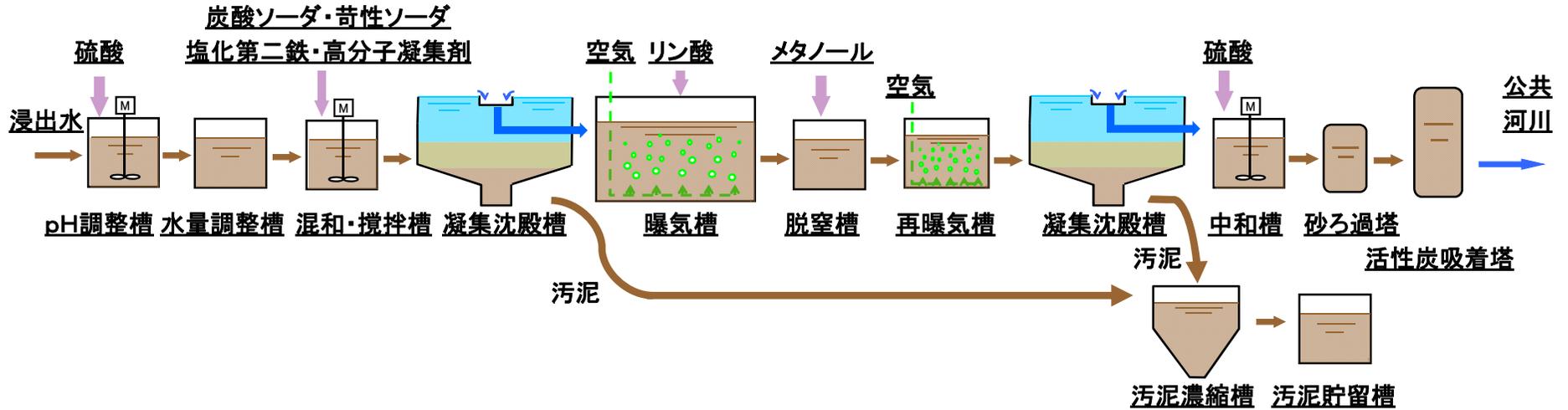


神明台7次 水処理のしくみ



薬品タンク

pH調整剤(苛性ソーダ・硫酸)・カルシウム反応剤(炭酸ソーダ)・凝集剤(塩化第二鉄)・凝集助剤(高分子凝集剤)・栄養剤(リン酸・メタノール)



◎各槽の説明

pH調整槽	硫酸を加えて弱酸性にすることで配管等にスケール(カルシウム)が付着しにくくし、後段の設備を保護するための槽。
水量調整槽	浸出水を貯留し、処理水量を調整するための槽。
混和・攪拌槽	カルシウムを除去するために反応剤を入れ、さらに凝集剤及び凝集助剤と混合してかたまり(フロック)にするための槽。
凝集沈殿槽	混和・攪拌槽で作られたフロックを沈降させ、上澄水(うわずみ)と汚泥に分離するための槽。
曝気槽	槽内の硝化菌の働きでアンモニア型窒素から硝酸型窒素に変えるための槽。栄養剤としてリン酸を注入する。
脱窒槽	槽内の脱窒菌の働きで硝酸型窒素から窒素ガスに変えるための槽。栄養剤としてメタノールを注入する。
再曝気槽	脱窒槽で微細な気泡となった窒素ガスを大気中に放出させるための槽。
中和槽	処理の過程でアルカリ性となった処理水に硫酸を加えて中性にもどすための槽。
砂ろ過塔	処理水中のSS(不溶性の固体粒子)を除去するため、塔内に充填された砂に通過させて捕捉する槽。
活性炭吸着塔	処理水中のCOD及び色度等を除去するため、塔内に充填された活性炭に通過させて吸着させる槽。
汚泥濃縮槽	凝集沈殿槽から引き抜いた汚泥を濃縮させるための槽。
汚泥貯留槽	汚泥濃縮槽から引き抜いた濃縮汚泥を貯留するための槽。